

三年学年だより

No. 8

1月号

令和3年 1月 14日発行

307HR 担任・副担任

何のための受験か

あけましておめでとうございます。とは言っても、皆さんは共通テストに向けて勉強の毎日ですよ。そんな皆さんに、少しでも息抜きになればと、書かせてもらいます。お気楽すぎて癪に障ったら本当にごめんなさい。

この年末年始は、問題を解くこと自体はクイズのようで楽しいのですが、他のことも山ほどあり、研ぎ澄まされると同時に、窮屈でイライラしていく気がし、少し仕事から離れました。ごめんなさい。代わりに、ずっと読めずに「積ん読」していた小説によって、世界は美しいと思い直しました。ドラマ「逃げ恥」は、働くことや男女の社会的な役割について、いちいち私の胸に刺さりました。少し認知症を疑い始めた父親 VS 母親・私で不毛な口論をした後で、介護とか家事とか、リアルに一人っ子&女の私にのしかかってくるよ、なんで女ばかりと思った直後に、男だって大変なんだ、そもそもその枠自体に苦しむ人もいて、また、東京に住む人の恐怖は測り知れないと、私自身の偏見を正してくれました。ナウシカ歌舞伎は、小学校のときに友人の紹介で原作漫画を読破した身としては抵抗感満載でしたが、本質は同じでした。生きるとは？命とは？異質なものと共生するとは？次々問いかけてきます。

結局、日常の何を見ても学びを得ます。私は文学部出身ですが、教育学部の授業が面白く、そちらの先生のゼミにもお邪魔させてもらっていました。そこで、くだらないとされる漫画やアニメ、ポップスからも、究極的にはツイッターのようなものからも、「現代で生きづらさを生み出しているものは何か」「現代で皆が生きやすくなるためにはどうしたら良いのか」という、大学の学びの基盤にある哲学は考えられると学びました。必要なのは、たくさんの知識と、それを結び付け関連づけ、順を追って論理的に考えられる力です。受験勉強は何のためにするのか、どうせ社会に出たら使わないのに。そんなふうにして苦しんでいる人もいるでしょう。しかし、知識は絶対に必要です。そして、結び付ける力や論理的な力は、共通テスト対策でも身に付きます。それを踏まえたくて、大学での、「人を幸せに、社会を良いものにするための本当の学問研究」は成り立つのです。どうか、もう少し、一緒に頑張りましょう。そして、既に進路が決まっている人も、日常の全てを教材とし、考える力を養っていきましょう。(307担任)



“大丈夫” !!

この言葉は、松山商業高校から松山大学を経て、三井住友海上陸上競技部で日本の女子マラソン界を牽引してきた松山市北条出身の土佐礼子さんが、高校の後輩たちに送ってくださった言葉です。土佐さんは、2度のオリンピックと世界陸上に日本代表として出場し、世界陸上ではエドモント大会で銀メダル、大阪大会で銅メダルを獲得しました。非常に粘り強い走り最後まであきらめない姿に多くの人が感動し、たくさんの勇気ももらいました。そんな土佐さんが、高校駅伝に臨む後輩たちのために、この言葉を檮(たすき)に書き記してくださいました。私も、この言葉にとっても感銘を受け、今も大切にしています。

これから、共通テスト・大学受験に臨む多くの3年生の皆さん、大きな不安を抱きながら今を過ごしていることと思います。しかし、ここまで頑張ってきた努力は、必ず報われるときが来ます。自分を信じ、ここまで支えてくださった保護者や先生方の激励に感謝しながら、落ち着いてそのときを迎えてください。

“大丈夫” !! 必ず、めざすゴールは見えてきます。迷うことなくスタートに立ち、しっかり駆けていってください。 . . . “大丈夫” !!

(307副担任)